

生理検査室における検査前説明に対する患者アンケート

栗原 五美

静岡赤十字病院 検査部

要旨：チーム医療に貢献するため、これまで検査部の取り組みとして入院患者への生理機能検査の前日説明を行ってきたが、今回生理検査を受ける患者が検査前説明として何を必要とするかをアンケート調査した。396名の回答が得られた。事前説明に必要と思われる項目を3段階評価で集計した。最も重要と回答された割合の高かったのは検査の安全性についてであり、次に検査の目的、検査前の注意事項についてが高い割合となった。患者が自分自身の病態にその検査がどう関わるかを知りたいとの要望が浮き彫りになった。今後検査説明を充実させる方向性が示唆された。

Key words：生理検査，検査前説明，臨床検査技師，アンケート調査，チーム医療

I. はじめに

近年チーム医療の重要性が問われ、平成19年に厚生労働省から「医師および医療関係職と事務職員との間等での役割分担の推進について」¹⁾が通知された。これをうけて当院においても検査部の取り組みとして入院患者への生理機能検査の前日説明を行ってきたが、その説明の内容は検査時間や準備事項に限られ、満足度の調査検討はされていない。今回、生理機能検査を受けるすべての患者に対して、「必要な検査説明の内容」についてアンケート調査を実施したのでその結果を報告する。

II. 対象

平成27年3月16日より3月27日までの2週間に当院生理機能検査室でなんらかの検査を受けた患者のうちアンケート調査に協力を得られた合計396名を対象とした。

III. 方法

本調査用に作成した無記名自記式の調査用紙を用いた。当日依頼および予約依頼で検査を目的に来室した患者に生理検査室受付においてアンケート協力の意思を問い、了承を得られた方に対しア

ンケート用紙を同受付で手渡し、検査待ち時間に記入するように依頼した。回答の意思はあるが何らかの障害で自身での記入ができない対象者に対しては介護者に回答を依頼した。

1. アンケートの調査項目（表1）

1) 患者の基本情報

年齢，性別，受診科

2) 現行の検査前説明の実態調査

今から行う検査項目名，事前の検査説明の有無，事前検査説明を受けたと回答した場合には説明を受けた職種を医師・看護師・受付事務・その他の中から選択してもらった。さらに検査説明の有用性の有無を質問した。

3) 臨床検査技師の認知度

検査を“臨床検査技師”が行う事を知っていたか，“臨床検査技師”という職業名を知っていたか、を質問した。

4) 検査説明に必要な項目の調査

検査予約時間，検査までの待ち時間，検査所要時間，検査を行う体勢・着衣の状態，検査を行う技師の氏名・自己紹介，検査の目的，検査での痛みの有無，検査の安全性，検査前の注意事項，検査後の注意事項，結果の出る時間，その他についてそれぞれ重要・重要でない・どちらでもないの

表1 アンケート

検査事前説明についてのアンケート			
これから生理機能検査を受けるみなさま、今後の業務改善に向けてアンケートにご協力ください。			
1. ご自身について教えてください			
年齢	歳	性別	男性 女性
受診科		入院されている方は病棟	
今から行う検査はなんですか	わからない		
2. 今から行う検査について受診科で事前説明はありましたか		はい	いいえ
3. 設問2ではいと答えた方、誰からうけましたか(複数回答可)		1 医師	
		2 看護師	
		3 受付事務	
		4 その他()	
4. 設問2ではいと答えた方、その説明は役にたちましたか		はい	どちらでもない
		いいえ	
5. 今から行う検査は「臨床検査技師」が行うことを知っていましたか		はい	いいえ
6. 「臨床検査技師」という職業名を知っていましたか		はい	いいえ
7. 検査事前説明についてあなたにとっての重要度をお答えください			
	重要	どちらでもない	重要でない
検査予約時間	1	2	3
検査までの待ち時間	1	2	3
検査所要時間	1	2	3
検査を行う体勢・着衣の状態	1	2	3
検査を行う技師の氏名・自己紹介	1	2	3
検査の目的(なにがわかるか)	1	2	3
検査での痛みがあるか、ないか	1	2	3
検査の安全性	1	2	3
検査前の注意事項(飲食・服装・睡眠等)	1	2	3
検査後の注意事項(飲食・入浴等)	1	2	3
検査結果いつ出るのか	1	2	3
その他()	1	2	3
8. 検査事前説明を受けることで不安が解消されると思いますか		はい	どちらでもない
		いいえ	
9. 「臨床検査技師」が事前検査説明をしたら役に立ちますか		はい	どちらでもない
		いいえ	
10. 男性技師が心電図などの生理検査を行うことは不快だと思いますか		はい	どちらでもない
		いいえ	
ありがとうございました。その他、ご意見がございましたらご自由にお書きください			

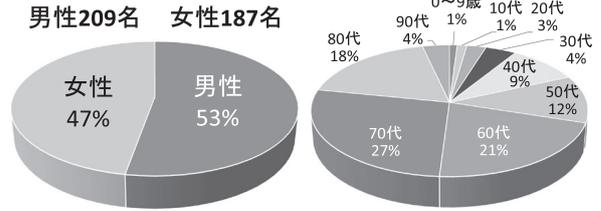


図1 対象の性別および年代別集計

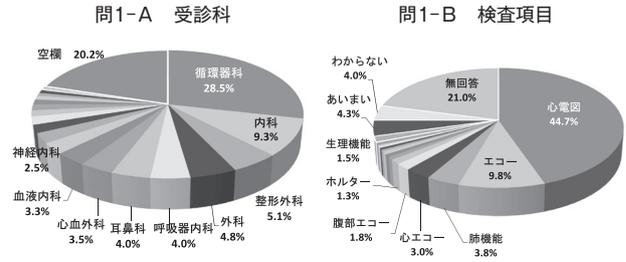


図2

が20.2%あり、検査項目の問に対しては未記入21.0%であった(図2)。

検査についての事前説明の現状については、受診科で76.5%が受けたと答え18.4%が受けていないと回答した。ほとんどが医師または看護師から受けたとし、それが役立ったと回答したのは52%であった(図3)。

3段階で評価した。

5) 検査説明の必要度と臨床検査技師の関与について

検査事前説明は不安感を解消するのに役立つか否か、検査説明を“臨床検査技師”から受けることは必要であるかを質問した。

6) 男性検査技師に対する拒否度

心電図検査等を男性技師が行う事に対し不快感を持つかを調査した。

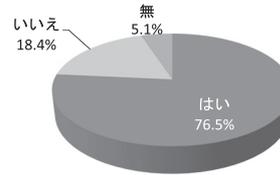
アンケートのデータは単純集計をした。検査説明に必要な項目の調査に関してはそれぞれの項目で回答の得られた件数に対する割合を集計した。

IV. 結果

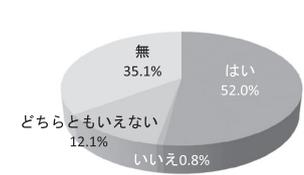
アンケートに協力の得られた解析対象は合計396名であった。その内訳は、男性209名女性187名。年代別には4歳から95歳。平均は65.2歳であった。(図1)

受診科の記入方式での質問に対し、未記入

問2 検査について受診科で事前説明はありましたか



問4 設問2ではいと答えた方、その説明は役にたちましたか



問3 設問2ではいと答えた方、誰からうけましたか(複数回答可)

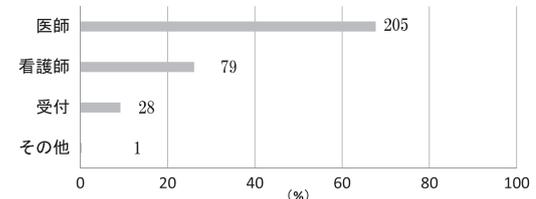


図3

“臨床検査技師”の認知度について調査した。担当者が臨床検査技師という職業である事を知っていると答えた割合は52.0%。「臨床検査技師」という職業名を知っていると答えた割合は51.3%であった(図4)。

問5 今から行う検査は「臨床検査技師」が行うことを知っていましたか
問6 「臨床検査技師」という職業を知っていましたか

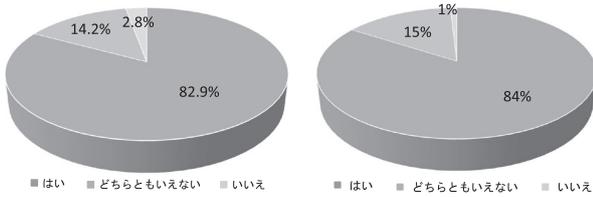


図4

問7 検査事前説明についてあなたにとっての重要度をお答えください

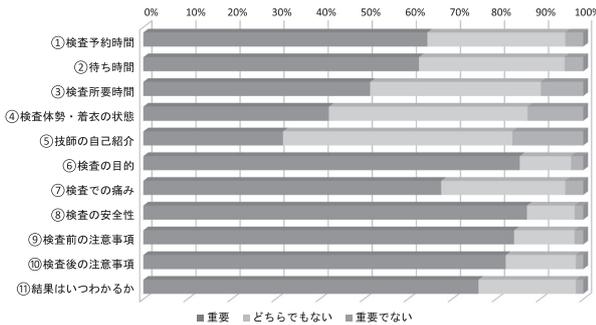


図5

問8 検査事前説明を受けることで不安が解消されると感じますか
問9 「臨床検査技師」が事前検査説明をしたら役に立つと感じますか

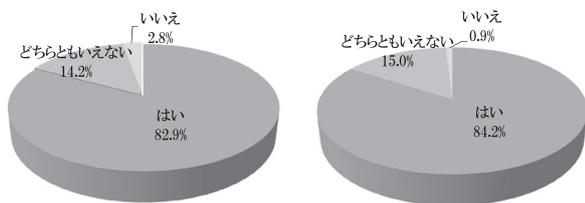


図6

問10 男性技師が心電図などの生理検査を行うことは不快だと思いますか

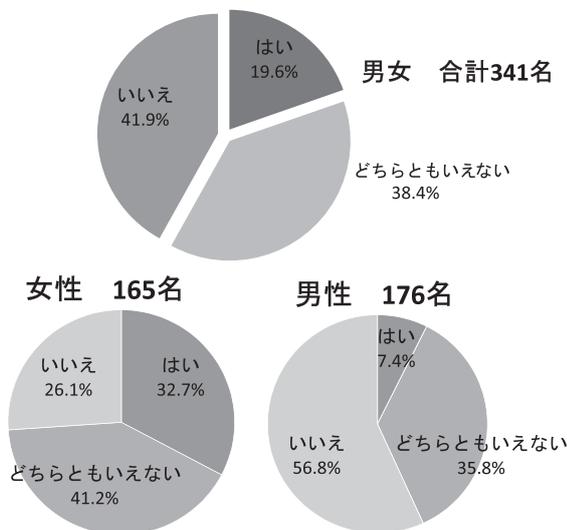


図7

事前説明に必要と思われる項目を3段階評価で集計した。最も重要と回答された割合の高かったのは検査の安全性についてであり、次に検査の目的、検査前の注意事項についてが高い割合となった。技師の自己紹介については28%と低い結果であった。検査所要時間や検査体勢に対しても割合は低い傾向であった(図5)。

これまでの質問事項をふまえ、検査事前説明を受けることは不安解消のために有用であるとした回答は82.9%、検査の実行者である臨床検査技師に説明を受けたいとする回答は84.2%となった(図6)。

検査説明とは直接の関係はないものの、患者サービスの一環であるが、業務分担の上で懸案事項となる男性技師の受け入れについて調査したところ、女性165名中不快でないと答えたのは26.1%で4分の1の割合であった(図7)。

V. 考 察

当院においては検査部の臨床支援の一環として、採血室での外来患者の採血、病棟患者の採血などを行ってきた。入院患者に対する翌日の生理検査説明も当初より行ってきた事項であるが、その内容は検査の予定時刻、どういった検査であるかの説明、検査前飲食の可否にとどまっていた。臨床検査技師の職務上、その検査が「どういう検査」であるか、「なにがわかるか、推測されるか」までの説明はできても結果に対する説明は治療の適正や今後の指導に関わることとなり医師法上行う事ができない²⁾。そのあいまいさの回避のため検査説明の内容についての妥当性、必要性、満足度を調査検討したことはなかった。また、業務の時間的制限から一部の入院患者に限って検査説明を行ってきたが、事前検査説明に検査技師の参入の余地があるかも調査の目的とした。

受診科を記入方式で質問したところ、未記入が20.2%あった。今回のアンケート調査は診察当日の検査依頼があった患者も対象としたため、循環器科および心電図検査の割合が多くなっている。検査項目の間に対しては未記入は21.0%だっ

た。また“心臓のけんさ”や“入院のため”といったあいまいな表現での回答や生理検査との回答が5.8%あり、合計30.8%の患者が正しく検査項目を答える事ができなかった。検査事前説明を80%の人が受けたと答えているにも関わらず、検査項目を答えられたのは70%であり、また説明が役立ったと回答した人の割合が50%とその低さから、今の状態では患者が理解できる説明が十分に行われていない事が示唆された。

日本臨床衛生検査技師会は平成25年「チーム医療推進に関する答申書」³⁾を公表し、その中で検査説明・相談は臨床検査技師の存在感や必要性を直接患者さんに伝える機会となり得ると方針を打ち出している。しかし今回の調査においては臨床検査技師の認知度は約5割で満足の得られる数値ではなかった。我々は今後も認知度を高める努力とアピールを続ける必要があると思われた。

検査前説明の内容の重要度について心電図などの比較的頻度の高い検査も今回の対象となっていることから、自身が過去に経験したことのある検査では様子がわかる事を反映し、検査所要時間や検査体位のポイントは低いと思われた。これに対し検査の安全性について、検査の目的、検査前後の注意事項についてなど患者個人の病態に即した情報の重要度が高く、必要とされる検査前説明も、個々の患者に合わせて我々臨床検査技師が提供できる具体的な検査の実際を伝えることで不安感の解消につながると考えられた。

今回、今まで行ってきた入院患者への生理検査の前日説明を受け、生理検査の検査前説明に限って調査を行った。患者が必要な検査説明は患者の理解にもつながり、患者満足度の向上だけでなく診療支援にもなる。さらに臨床検査技師の存在感や必要性を直接患者に伝える最良の機会になり得ると考える。

最後に、男性技師が生理検査を行う事についての調査では、女性患者の1/3が男性技師で検査施

行は不快と回答した。これまで以上に患者の心情に考慮し患者サービスに努めるべきと考える。

VI. まとめ

今回行ったアンケートの結果において、現在の医療者の検査説明では患者の検査に対する理解がまだ不十分であることがわかった。

検査の目的や安全性と同時に、患者が自分自身の病態にその検査がどう関わるかを知りたいとの要望が浮き彫りになった。

このアンケートによって検査説明を今後充実させる方向性が示唆された。我々臨床検査技師がチーム医療として関与できる事項として見直し、模索検討していきたいと考える。

文献

- 1) 厚生労働省. 医師及び医療関係職と事務職員との間等での役割分担の推進について. [online].東京: 厚生労働省. [cited 2016.11.18]available from URL.<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000025aq3-att/2r98520000025axw.pdf>
- 2) 工藤奈美, 多田恵梨子, 芳賀久美ほか. 多職種チーム医療の充実に向けて 臨床検査技師によるチーム医療への参加 検査説明. 日クリニカルパス会誌 2014; 16: 176-8.
- 3) 日臨技チーム医療推進検討委員会. チーム医療推進に関する答申書～優先課題の取り組みについて～. [online]. 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会. [cited 2016.11.18] available from URL.<http://www.jamt.or.jp/data/2013/01/17/%E3%83%81%E3%83%BC%E3%83%A0%E5%8C%BB%E7%99%82%E6%8E%A8%E9%80%B2%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E7%AD%94%E7%94%B3%E6%9B%B8.pdf>

Patient Questionnaire to Pre-examination Explanation in Physiological Function Examination Room

Itsumi Kurihara

Department of Physiology, Japanese Red Cross Shizuoka Hospital

Abstract : An inspection department has explained to an inpatient for team medical treatment previous day's explanation of a physiology check up to now. I questioned the patient who has an examination this time about the contents necessary to the explanation. I had 396 responses. I totaled the item necessary to the preliminary explanation by 3 stage evaluation. Safety of the test, blood, notes of the previous inspection, the percentage was higher. I found out that a patient demands how concerned a check was with its clinical condition he'd like to know. Directionality of the future's check explanation was wetted.

Key words : Physiological examination, Explanation before inspection, Clinical laboratory technician, Questionnaire survey, Team medical